

高知大学病院：血液内科専門医をめざすプログラム（プログラム責任者：小島研介）

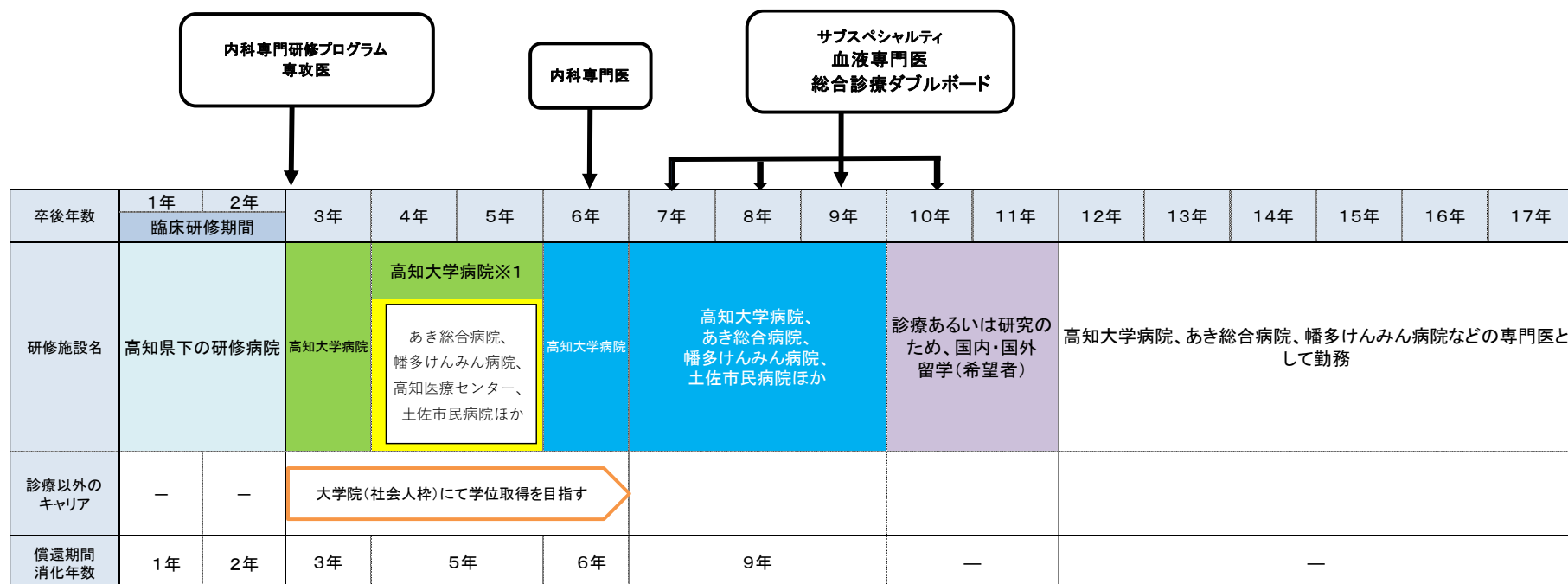
Ⅰ. プログラムの特色

高知県で極めて不足している血液専門医の育成をめざす内科専門医プログラムである。血液内科が大学勤務でも義務年限を償還できることから、プログラムの詳細は個々の専攻医の目標と希望あるいは事情にあわせてアレンジできる。造血細胞移植認定医、輸血・細胞治療学会認定医を併せてめざすことも可能である。7年目以降、本人の希望と医局の状況にあわせて高知大学病院に勤務することも可能で、ライフイベントがあっても安全に血液内科専門医を取得できる環境である。

Ⅱ. 目 標

まずは最初の3年間の研修により内科専門医を修得し、合わせて内科サブ領域の専門医の取得を目指す。サブ領域を主として活躍したい場合はスーパー専門医を目標として、内科研修に連動してサブ領域を研修し、臨床研修後4年でサブ領域専門医も修得し、さらに国内外への留学も含めて計画する。一方、幅広い内科領域（内科指導医）を取得する場合は新しい総合内科専門医取得を目標としたり、総合診療専門医とのダブルボードを目標とすることもできる。

Ⅲ. キャリアパス



※1 1～2年間は高知市・南国市外での研修を確保する(本人希望や医局の状況にあわせて)。